

こども支援部会 令和2年度 活動報告

わかくさ学園 いちご
河口 郁絵



こども支援部会の活動報告 (令和2年度)

●こども支援部会の目的

- こどもを取り巻く事業所の連携と質の向上
- こどもの抱える地域課題を抽出し、解決に導く
- こども、家族のために情報発信を行う

●活動計画

- ホームページの活用（事業所紹介・空き情報）
- こどもに関する研修会の開催
- 福祉サービス事業所の支援方法や支援ツールの紹介
- 事例検討や事業内課題についてのグループワーク 等

★定例会は奇数月の第2水曜日19:00～20:30



こども支援部会の活動報告 (令和2年度)

コロナウイルス拡大のため、定例会の5月、1月を中止

第1回（7月）参加者21名・・・事業所紹介（参加事業所）
コロナ関係に関するアンケート

第2回（9月）参加者19名・・・事業所紹介（今年度初めて参加した事業所）
グループワーク（仕事をする上で困っていること

第3回（11月）参加者15名・・・事業所紹介（今年度初めて参加した事業所）
グループワーク（仕事をする上で困っていること

第4回（3月）参加者15名・・・事業所紹介（今年度初めて参加した事業所）
こども支援部会についてのアンケート

こども支援部会の活動報告 (令和2年度)

★7月のコロナに関するアンケートから（抜粋）

（事業所で困ったこと）

- ・最初はマスクや消毒液確保が出来なかった。
- ・事業所の換気や消毒を行うための人手が余分に必要だった。
- ・少人数で活動を行うための部屋の確保が必要だった。等

（課題）

- ・収入の見通しがたたない。不安。
- ・休校後になかなか学校に戻れない利用者支援について。
- ・職員の感染に対するリスク。等

こども支援部会の活動報告 (令和2年度)

★3月の岡山市障害者自立支援協議会（こども支援部会） に関するアンケートから（抜粋）

（こども支援部会に参加して良かったこと）

- 事業所の職員や相談員と話が出来て情報交換など横の連携ができた。
- それぞれの事業所の特色や強みがわかり参考になった。
- 違う視点からの意見を聞くことができ参考になった。等

（こども支援部会で取り上げてほしいこと）

- 不登校児への対応と福祉サービスの調整について。
- 発達障害児や困難ケースの事例検討。
- ヒヤリハットや事故などの情報交換。
- 保護者対応、家族支援について。等

こども支援部会の活動報告 (令和2年度)

★3月の岡山市障害者自立支援協議会（こども支援部会）
に関するアンケートから（抜粋）

（こども支援部会で開催してほしい研修会や講演会）

- 年齢が高い利用者のASDの対応やゲーム等への依存について。
- 児童福祉サービスや報酬改定の説明。
- ティーチとペクス。等

（地域課題）

- 学校、病院などの関係機関との情報共有や連携など。
- 小学校の支援クラスや通級クラスの様子が知りたい。
- こども総合相談所や地域こども相談センターとの連携。
- 不登校児への支援。等

まとめ



今年度はコロナの関係で、定例会が2回中止になり4回の開催となった。

4回もコロナの関係で、例年より参加者は少なくなったが、その分事業所紹介やグループワークなどで事業所の職員や相談員との顔合わせや話し合いが出来て横の連携に繋がった。

研修会や講演会は行わなかった。

来年度にむけての課題

【コロナ等の地域情勢を鑑みての開催】

- ・定例会の実施。
- ・ホームページ（え〜んじゃネット）の活用。
（事業所紹介・空き情報）
- ・こどもに関係する地域課題などの抽出。
- ・テーマ別のグループワーク
- ・こどもに関係した研修会の実施。

